

# 北大阪 商工組合 ニュース

2018年3月/第329号

URL <http://www.kita-osaka.co.jp/~kumiai>  
E-mail [kitashoko@leaf.ocn.ne.jp](mailto:kitashoko@leaf.ocn.ne.jp)

## 第36回 北大阪商工協同組合 定時総会開催

### 組合の存在意義が問われる時代 新しい観点も踏まえ活発な運営を!



▲今期もよろしくお願ひします(理事一同)

### 時代の変化・世代交代の中で、 改めて組合の役割を捉え返していきたい

代表理事 大里 哲久

私たち中小企業にとって、国内情勢は相変わらず厳しい情勢が続いています。人口減で深刻な労働不足に陥り、経費だけが増え、将来に向けたなかなか展望が見えてきません。その中で、職場環境の見直しや営業努力をしながら事

業活動をしていると思いきや大きく変わり、役割も変わってきています。当初、中小零

合の役割は、各社の協力関係を結び、1社でできないこともお互いに情報交換や協力すれば大きな力になると思いますが、そのためには、具体的な取り組みを提案し、各社との交流や地域での活動を広げていく必要があると思います。

今年1月に、組合企業に呼びかけ、各社の労働環境をはじめ働き方についての勉強会をしました。これまで組合員の企業は、どちらかといえば目の前の業務を終わらそうと長時間労働になる中で事業活動をしていました。しかし、職員の健康や安全面などが問われる時代になり、最低限の労働条件を整え、安心して働ける職場環境も作る必要があります。人材を確保するにも多くの課題が多くあり簡単に解

業活動をしていくためには、組合も少しでも役に立ちたいと、職業紹介事業の承認を受けて職業紹介ができるようになり、具体的な取り組みはこれからですが、人手不足に少しでも役に立てるよう協力します。

また、商工組合も設立から36年たち、設立当初の情勢も

決できないと思いますが、今、考えていかないと、将来の事業は続けられなくなるのではないのでしょうか。

時代の変化とともに、組合の存在意義も問われています。これまで培ってきた役割が終わったわけではありませんが、世代交代も進み始め、これまで中心にいた世代から次の世代に替わる中、改めて何のために事業を続け協力しているのかを捉え返していく意味でも、組合の役割は重要になっていくと考えます。

特に迫られているのが人材・人手不足で、新しい取り組みができず、現状を改善できない状況が続いています。組合も少しでも役に立ちたいと、職業紹介事業の承認を受けて職業紹介ができるようになり、具体的な取り組みはこれからですが、人手不足に少しでも役に立てるよう協力します。

また、商工組合も設立から36年たち、設立当初の情勢も

決できないと思いますが、今、考えていかないと、将来の事業は続けられなくなるのではないのでしょうか。

時代の変化とともに、組合の存在意義も問われています。これまで培ってきた役割が終わったわけではありませんが、世代交代も進み始め、これまで中心にいた世代から次の世代に替わる中、改めて何のために事業を続け協力しているのかを捉え返していく意味でも、組合の役割は重要になっていくと考えます。

### 多くの反省点を踏まえ、人間関係の絆を より強めていくことに向けて

専務理事 一村 洋子

3月18日に当組合の第36回定時総会を開催しました。冒頭に来賓挨拶として、川西市議の北上哲仁さん、豊中市議の木村真さん、高槻市議の高木隆太さんから、それぞれの活動報告をうかがいました。

社は清算に至り、経営内容の問題以上に運営面で責任者・役員会の活動や考え方が問われ、多くの反省点がありました。

この問題について、組合では無料職業紹介事業を開始して、皆さんの求人支援に取り組めます。また、今働いている人たちの対象に、業務上の知識・技術・能力を深める各種勉強会を企画立案して実行していきます。

その後の質疑応答では、「組合ニュースには他の通信みたいなことは載せず、もつと組合員に直結した中身を書くべき」とか、「こんな議案書では意見が出ない。異論や反対・賛成など議論を引き出す内容が出ていない」といった意見があり、今後の活動に向けて考えさせられた次第です。

総会は大里代表理事の挨拶のあと、事業報告「組合員各社の経営・運営問題に関わり、商工経営センターと連携し、問題点については全体化して皆で解決すること」から始まり、組合員各社に関わり

また、他団体との交流や福祉事業所への支援、教育研修事業では、2回の講演会や「ささえあい生協新潟」訪問、組合ニュースの改革や福利厚生事業としての健康診断・運動会、その他について報告しました。新規事業については、今期も事業遂行の責任主体を決めるといふ課題を解決でき

今期でできなかった組合員のブロック交流会や政治・社会的な課題にも引き続き取り組みました。

午後の懇親会は、さまざまなお話で盛り上がり交流がすすみました。

### 3.11 フクシマを忘れない



### 関西よつ葉連絡会

生産・流通・消費のつながりを地域から

〒567-0827 大阪府茨木市稲葉町4-5  
☎ 072-630-5610 FAX 072-630-5606

### 原発に頼らない社会へ!!

### みんなでできることから

《配達エリア》尼崎全市、西宮市(JR線以南)

### (有)阪神産地直送センター

☎ (06) 4868-4350 FAX (06) 4868-4351

### 人と人のつながりを大切に!



地域で安心して暮らせる  
まちづくりを  
応援しています



### (株)能勢産直センター

☎ 072-734-2100 FAX 072-734-3951

●●●● 《共同利用・相互協力をつよめよう》 ●●●● 《買う人が売る人に、売る人が買う人に》 ●●●● 《販売ルートの相互紹介で事業の拡大を》 ●●●●